



宮寺小だより

かしこく なかよく たくましく

令和6年度 第11号

3月3日 児童数223名

人間市立宮寺小学校

人間市宮寺594-1 電話2934-2014



きれいなことば ～「ほめる」とは～

宮寺小学校 校長 塩沢 栄一

先日の土曜参観・学校公開では、寒い中ご来校いただきましてありがとうございました。子供たちの元気いっぱいの笑顔、先生方のはつらつとした笑顔を見ていただきました。2校時の講演会では「自ら考え行動する力 こどもの主体性アップ↑」というテーマで、子育てのヒントをいただきました。「自主性と主体性とは？」で始まり、自主性とは「やるべきこと」に対して、自ら率先して行動すること。主体性とは「決められていないこと」に対して、自分の意志・判断により自ら責任をもって行動すること。それでは主体性を育てるには、①自主的な行動が認められる。②何度も認められることで安心感・自信になる。③「〇〇してみよう」と考えるようになる。

そのためにも「ほめる・認められる」が大切であるということです。「ほめる」とは「注目」することだと学びました。肯定的な「注目」を与えることだと。具体的には笑顔を向ける・ハイタッチ・グーサイン・うなずく・感謝等々。

そして、コツは・・・①タイミング(その時その時)②声の調子・言葉(明るく)③行動をほめる(何をしたのかやっことをほめる)④効果的にほめる(一人ひとりに合わせたほめ方がある)といった流れ



講師:雨間 元良 先生

で。大切なのは子供がほめられていると実感することです。家庭でも学校でもできることがたくさんあります。連携して、自分で考え行動する子を育てていきましょう。

1月末から2月にかけて、全ての先生方の授業を1時間ずつ見せてもらいました。「楽しい授業」追求の手段として、「学び合い」を取り入れた実践を進めています。「学び合い」の場面では子供たちが声を出します。気をつけなければいけないのはどんだん声が出るようになり、もう少しメリハリをつけなければと感じることで、全職員で確認したことは「聴く」ということを大切にしていること。話を聴く時は聴く。学年のまとめとして全学級で取り組みます。

学び合いを進めています

校長の学び「今月の読書」



外はいい天気だったのだ。東京には珍しく、青い空が、ふるさとに負けないくらい、ほんとうにきれいだったのだ。見せてやりたい。やがて、静かに、背中に重みがかかった。よかったねえ、幸ちゃん、よかったねえ、と母が言ってくれた。僕は両足を踏ん張って立ち上がる。奈津子が玄関のドアを開けて、陽の光が差し込んだ。「一緒に行こう、亮介」僕は足を一步、踏み出した。「まゆみのマーチ」重松 清

自分の子供の頃とは全く違った子のように育っていく息子。しかし、発達の時々、「あれ？」と思える言動。やはり...

3月の生活目標『1年間のまとめをしよう』
保健目標『1年間の健康を反省しよう』



宮寺小ギャラリー



なかよし「なかよしショップ」
接客の仕方がとても上手でした。



1年生活科「節分豆まき」
みんなで悪い鬼を退治しました。



2年生活科「苗の植え替え」
どんぐりの木の成長が楽しみです。



3年「博物館見学」
入間の歴史や昔遊びを学びました。



4年「カラーセラピー」
色と心の繋がりを知りました。



5年「社会科見学」
防災館にて消火器体験



6年「社会科見学」
なかなかできない体験をしてきました。



児童朝会「給食感謝の会」
劇や手紙で感謝の気持ちを表しました。



朝のふれあいタイム
異学年同士で楽しく遊んでいます。

<お知らせ>

○先日、学校運営協議会を行い、「あいさつ」「教育支援(ボランティア)」「環境整備」について、1年間の振り返りを行いました。本校の教育活動への評価も行っていただき、全ての項目で肯定的な評価をいただきました。これも、日頃からの保護者の皆様のご協力のおかげだと思っております。残り1ヵ月となりましたが、引き続きよろしく願いいたします。

○2月22日(土)の学校公開に多くの方が参観していただき、ありがとうございました。また、講演会に参加された皆様から、「子どもへの具体的な対応の仕方の話を聞いた。」「とてもためになった」などご好評いただきました。ありがとうございました。